



第87号 2022. 8. 25

(公社)津法人会 青年部会
津市広明町121番地 津税理士会館4階
TEL(059)225-1302



TSUHOZINKAISEINENBUKAI (Instagram)



(ホームページ)

提 言

「値上げがとまらない」

食品、飲料、調味料、日用品、外食も！？ いま、「値上げラッシュ」が暮らしを直撃しています。世界的な原材料価格の上昇、ロシアによるウクライナ侵攻、そして急速な円安とさまざまな要因がからみあう物価上昇はいつまで続くのか。

子供の頃によく食べた「うまい棒」1本10円から12円に値上げされました。40年以上価格据え置きも驚きですが、子供たちの小遣いでも買える「10円」にこだわり、これらを維持してきた企業努力をしても物価上昇に太刀打ち出来なかった。たった2円の値上げでも企業にしてみたら苦渋の決断だったのでしょう。

私が身を置く建設業界でも、輸入木材や鋼材の価格高騰が「ウッドショック」、「メタルショック」と呼ばれ、2020年9月から2022年1月までに木材価格は約74%、鋼材価格は約44%、建設資材物価は約20%上昇しました。木材は、アフターコロナを見据えてアメリカにおける住宅需要増加が引き金となり、世界的に需給が逼迫して価格が上昇した結果、国内における価格が高騰しました。また、鋼材は、世界的な需要が高まったことに影響を受け、原材料である鉄鉱石や原料炭の価格が上昇した結果、国内での価格が高騰しています。

つまり、国内における木材と鋼材の価格は、国

内の需給状況に関わらず、世界における需給バランスと価格に左右される側面が強いといえます。主要な消費国では今後も安定的な成長が見込まれており更なる価格上昇、資材不足傾向で推移していくと思われます。

今まで我慢していたのだから、もうしばらく我慢してもよいのではないかと感じてしまうこともある。ここにきて値上げに動く真の理由は、むしろ「ずっと我慢してきたのだから、今が潮時だ」という側面もあるのではないかでしょうか。わかりやすく言えば、他の品目も値上げしているのだから、自分たちも我慢を止めて、値上げしてもよいだろうという判断が働いている気がします。

今後もあらゆるものが、値上げになるかと思います。いいもの、良いサービスを世の中に届け続けるため、資金や労働力確保の対策をし、「起きうこと」を想定し、起きても大丈夫なように備えていくことが重要ではないでしょうか。



(公社)津法人会青年部会活動報告会開催される

5月23日、津税務署 署長 小倉康彦 様をはじめとする多くの来賓のご臨席を賜り、ホテルグリーンパーク津において令和4年度の活動報告会が開催されました。吉村部会長を議長とし、その進行の下、令和3年度の事業報告および収支決算と、令和4年度の事業計画および収支予算が報告されました。

■令和4年度基本方針 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

よき経営者を目指すものの団体として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に繋がる事業を行っていきます。

公益法人として、租税教育、講演会研修会の一般公開を中心とした地域貢献活動にもさらに力を入れ、また会員交流も積極的に行います。

1. 会員研修

会員の自己啓発を支援し、企業経営の健全な発展に繋がる研修を行います。

2. 税制研修

正しい税の知識を身につけ、納税意識の向上を目指し研修会を行います。また、「e-Tax」の普及推進に努めます。

3. 会員拡大

会の存続・発展に繋がる積極的な会員拡大を行います。

4. 会員親睦

信頼できる仲間作りを目指し、会員親睦の機会をつくっていきます。

5. 広報

広報誌である「はげみ」とインターネットのホームページ・SNSを通じて法人会青年部会活動の広報を行います。

6. 関連団体

本会事業への参加並びに三重県法連、東海法連、全法連の各種事業へ参加し連携を深めるとともに、青年部会事業活動への参考とします。

7. その他

必要に応じて上記の基本方針を達成するための事業を行います。

月	行 事	本 会
4月		
5月	活動報告会	総会(23日)
6月		
7月	研修会	
8月	親睦ボウリング大会 広報誌「はげみ」発行	租 税 教 育 事 業
9月	研修会	
10月		
11月	全国青年の集い沖縄大会 (24、25日)	
12月	12月例会 広報誌「はげみ」発行	
1月	新年交流会	
2月	研修会	
3月		
役員会は毎月開催 HP・SNS更新は隨時 地 域 貢 献 事 業		

■令和4年度予算 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(1) 収入の部 (円)

項目	予算額	備考
会費収入	702,000	
行事収入	1,107,000	各種事業収入
負担金収入	10,000	役員会
本会助成金	500,000	
雑収入	1,000	
合計	2,320,000	

(2) 支出の部 (円)

項目	予算額	備考
事業費	1,808,000	
広報費	380,000	広報誌等
会議費	60,000	
雑費	40,000	支払い手数料等
予備費	32,000	
合計	2,320,000	

卒業式

5月23日(月)に活動報告会と共に令和4年度の卒業式が行われました。コロナ禍ということで、これまでのように飲食を伴った会が出来ないことは本当に残念な限りで、盛り上がりに欠けたことは否めませんが、卒業式という区切りの会が開けただけでも良かったと思います。

卒業生14名のうち、会場にお越しいただいた橋本賢一さん、田辺和弘さん、駒田真美子さん、岡本拓也さんからは青年部会での想い出などを語っていただき、最後に全員で記念の集合写真を撮影しました。

卒業された皆様が今後親会での活動も含め、益々のご活躍をされることを祈念いたします。



本年度卒業される方 (順不同・敬称略)

池田 弘治	(株)池田工務店	橋本 賢一	(株)ジガミホンフーズ
石川 穎紀	(有)イシカワ	田辺 和弘	田辺設備(株)
稲垣 隆司	(有)イナガキ	久保元重晴	東海土建(株)
西田 宗生	(株)エヌプラッド	○ 駒田真美子	西村建設(株)
大川 将寿	(学)大川学園	前田 祥成	(有)日昇産業
菊山 浩介	菊山鋼材(株)	岡本 拓也	日本土建(株)
小林 英紀	小林石油(株)	村田 篤宣	三重交通商事(株)



7月例会

『経営者がすぐ使える、税務・財務知識の最新トレンド』

日時：令和4年7月27日(水)

講 師

(株)赤塚総合経営研究所

代表取締役

赤塚 法生 氏

令和4年7月27日(水)に、津法人会青年部会7月例会を開催しました。

今回は(株)赤塚総合経営研究所 代表取締役 赤塚法生様に、「経営者がすぐ使える、税務・財務知識の最新トレンド」と題しまして、ご講演をいただきました。

新型コロナの感染急拡大を受けまして、ハイブリット講演を変更し完全オンライン講演でのリアルタイム講演とさせていただき、最終18名のご参加をいただき、講演が始まりました。

赤塚さんは、津法人会青年部会のメンバーであり、かつ税理士でもありますので、津市内の事例なども使い、まず貸借対照表と損益計算書の経営者としてのおさえるべきポイントや、簡単な見るポイントのご説明をいただき、大変分かりやすく・かつすぐ使える内容がありました。

その後、今使いやすい中小企業経営強化税制や、賃上げ促進税制のご紹介なども含めて、今のトレンドや経営者として正しく・賢い、税務の知識や

トレンドについてご説明いただきました。

最後に、インボイス制度や電子帳簿保存法についても、気を付けるポイントや現状の進捗状況を教えていただき、大変学び深い7月例会となりました。

お忙しい中、快く講師を受けていただいた赤塚さん、そしてご参加いただいた会員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



租税教育活動報告

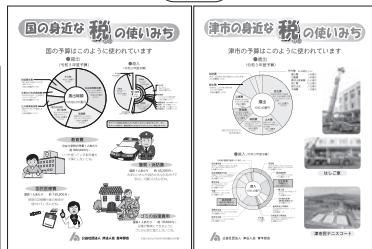
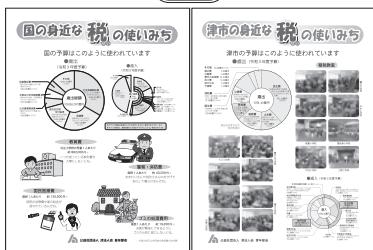
本年度も6年生1学期において、計8校の租税教室を開催させて頂きました。ご協力頂きました会員の皆様、誠にありがとうございました。租税教育のプログラムが変わって3年目に入ってまいりましたが、大きなトラブルもなく、どの小学校でも児童の皆様に楽しみつつ、盛り上がって開催できており、我々が考えている「税金はみんなの思いやりの気持ち」という部分も少しずつ広がっているのではないかと思います。

昨年の反省も生かして、なるべく熱い時期の租税教室を避けて頂けたので、シロモチ君の負担も軽減でき、よかったです。2学期以降も2校開催予定ですので、これまでご参加が難しかった方々もぜひご参加お待ちしております。本年度の反省点としましては、事前勉強用の会員向け教材の準備ができなかったことです。来年度の租税教室には間に合うように、準備したいと考えております。

それでは、これからも租税教育をますます盛り上げられるよう、今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

5年

6年





令和4年度 税教室 開催日程

- | | | | |
|-----------|----------|------------|----------|
| ・津市立桃園小学校 | 5月18日(水) | ・津市立香良洲小学校 | 6月29日(水) |
| ・津市立戸木小学校 | 6月6日(月) | ・津市立藤水小学校 | 7月13日(水) |
| ・津市立片田小学校 | 6月17日(金) | ・津市立豊が丘小学校 | 7月15日(金) |
| ・津市立明合小学校 | 6月20日(月) | ・津市立上野小学校 | 9月14日(水) |
| ・津市立大三小学校 | 6月27日(月) | ・津市立立成小学校 | |

子ども達に税の大切さを学んでいただきます。
講師・シロモチくん役(?)として
是非ご参加ください。



いきいきはげみ!

第37回

「ウォーキングキャンペーンを通じて」

きっかけは昨年9月頃、Yさんへの相談でした。「こんなイベントがあるのですが、参加してみませんか?」私が案内したのは、ウォーキングキャンペーンというイベントでした。(簡単に説明しますと、健康経営・健康増進の意識を高める手段として、ウォーキングを通じて参加者同士で結成した任意のチーム間で歩数を競う対抗戦です。)とある法人会青年部会が上位にランクインし表彰を受けた、という社内記事を見つけてYさんに相談したところ「面白そうですね」「参加してみましょう」という承諾のもと、ウォーキングキャンペーンへの参加が決定しました。

さあ、参加するとなったからには、私も楽しまないといけません♪ 形から入る私は、グッズも揃えました。ランニングシューズ、ウェア、ランドリーバック、タオル、活動量計(ウエアラブル端末)など。

ウォーキングに取り組んだことで、得られた【メリット】があります。

- ・自ら目標を設定することで、この年齢になって、自分で自分を褒めてあげる機会ができたこと。自信にも繋がったこと。
 - ・ウォーキングの時間を捻出するために、時間の工夫をするようになったこと。ウォーキング以外では集中力が高まったこと。
(優先順位を付けて、無駄な仕事をしなくなった?)
 - ・少しずつ体力(脛脛の筋肉)も付いたこと。少し走ったくらいでは、疲れにくくなっここと。
 - ・身体が疲れることで、熟睡できるようになったこと。
 - ・日常業務で感じるストレスが軽減したこと(大事)。
 - ・家族との会話でも、ウォーキングが話題になるようになっここと。また、娘とも手を繋いで散歩に行く機会ができたこと(笑)。
- などなど。思いつくまま挙げてみました。次回の健康診断の数値も、少し楽しみです。

一方で【デメリット】もあります。ウォーキングに一定の時間を割くこととなるので、急ぐ必要のない予定を次月に先送りにすることと、洗濯の回数が増えた(水道代が上がった)ことでしょうか。

ときどき「どのように歩いているのですか?」と質問をいただきます。私の場合、平日朝から夜

7時くらいの歩数が3,000~5,000歩程度です。ウォーキング強化月間のときだけは、退社してから1~2時間程度家の周りを歩いたり、ジムに行ったりもするようになりました。そして月1~2回、Kさんの真似をして5時間くらい歩くこともチャンレンジしてみました。

津法人会青年部会として取り組んでいるウォーキングイベントも4回目。私も意識することで、平均歩数が上がりました。

2021年11月(1回目)	9,000歩
2022年2月(2回目)	11,400歩
2022年6月(3回目)	18,500歩
2022年7月(4回目)	23,200歩

そろそろ「歩数」にも限界があるため、歩けなかった場合チームに迷惑をかけてしまいかねないので、どこで手を抜くべきかと思いつつも(?)完全にタイミングを見失っています(笑)。ですけれども、期待されるとつい頑張ってしまいますね♪ 私個人のモチベーションは、ただチーム・法人会青年部会に貢献したいだけ。一緒に歩くメンバーが頑張るから、私も頑張れる。この想いが、私の原動力となっています。一人では歩けないことも、自分のためではなく他の誰かのためにと思うと、不思議と苦にならなくなりますね。次回は10月に開催されますので、是非奮ってご参加ください。

最後になりましたが、Oさんより今回の執筆の機会をいただいたことに感謝しています。また、ウォーキングを通じて多くの方と仲良くさせてもらっていることにも、大変感謝しています。今後とも、よろしくお願ひいたします。

